

結核定期健康診断月報 記入要領

定期健康診断義務付け施設

施設種別	医療機関（※1）及び介護老人保健施設
実施者	管理者（院長・所長・施設長・理事長など）
対象者	職員のみ
報告	職員のみ
実施回数	毎年度に1回

（※1） 医療機関・・・病院、診療所、助産所

1. 結核定期健康診断の対象者について

職員・・・医療機関及び施設で従事する全ての人（正規雇用ではない非常勤職員も含む）が対象となります。

また、管理者につきましても業務に従事している限り、対象となります。

2. 健康診断について

① 胸部エックス線検査

・直接撮影・・・病院等の医療機関で利用されることが多い撮影方法です。

35cm×35cm のフィルムが使われ、ほぼ等身大の画像が得られます。

直接撮影を実施した場合は、その実施者数を記入してください。

・間接撮影・・・検診車で撮影されることが多く、学校や職場での集団検診によく利用される撮影方法です。

10cm×10cmのフィルムを使用します。

間接撮影を実施した場合は、その実施者数を記入してください。

② 喀痰検査・・・結核の発病が疑われる場合に、排菌の有無を調べる際に用いられる喀痰細菌検査です。

（判定ができた者のみを計上してください。）

がん細胞の有無を調べる喀痰細胞検査は含みませんので、計上しないでください。

※感染症法に基づく健診を受診しなくても、その対象者が同一年度内の他の機会に胸部エックス線検査を

受診し、その結果を管理者が把握している場合には、定期結核健診を受診したものと扱ってください。

（他の機会とは・・・職場健診や個人的に人間ドックで胸部エックス線検査を受けた場合などです。）

3. その他の健診について

胸部エックス線撮影ではなく、CT で健診を行った際は、この欄に健診内容と実施者数を記入してください。

また、QFT や T-SPOT 検査も受診した方がいる場合は、この欄に健診内容と実施者数を記入してください。

※人間ドックで、エックス線撮影を実施した場合は、胸部エックス線検査者数に計上してください。

4. 被発見者数について

- ① 結核患者…結核患者と診断され、医師による直接の医療行為を必要とする者。
- ② 潜在性結核感染者…潜在性結核感染症（LTBI）と診断され、発病を予防するため予防内服している者。潜在性結核感染症とは、臨床的特長や画像所見等を認めないものの、IGRA 検査やツベルクリン反応の結果から結核感染が明らか、又は強く疑われるものをいう。
- ③ 結核発病のおそれがあると診断された者…医師による直接の医療行為は必要としないが、定期的に医師の観察指導を必要とするもの。

5. その他

健診の未実施者がいる場合は、記入例を参考に、未実施者の人数と未実施の理由を記載してください。

● 提出する際の留意点について ●

健診を行った翌月の 10 日までに、別紙報告様式に記入して、FAX 又は郵送で御提出ください。

ただし、結核定期健康診断の実施状況は、統計をとりますので、令和 3 年 3 月中に実施した健診につきましては、3 月 31 日までに御提出いただきますよう御協力をお願いいたします。

報告する事例がない月（健康診断を行っていない月）は報告不要です。

数か月にわたる健診の場合、1 枚にまとめ、健診の最終月に取りまとめて、報告いただいても結構です。その際には、記入用紙の上部の健診実施月を記載する括弧の中に、「●月～△月分」と記載してください。

なお、数か月にわたる健診の場合で、1 枚にまとめずに、実施月ごとに報告していただく場合は、月の報告数の横に、当該年度における累計数を括弧に記入してください。（下記を御参照ください。）

※対象者がいない場合（例：社会福祉施設で 65 歳以上の入所者がいないなど）も、対象者を「0」として月報の提出をお願いいたします。この場合は、記入用紙の余白部分に理由（例：65 歳以上の入所者はいないなど）を記載してください。

※年度中に健診を実施しなかった場合にも、検査者数を「0」として月報の提出をお願いいたします。また、未実施の理由を記載してください。

例)

区分		従事者	学	（収容）者
対象者		70		
健康診断	胸部エックス線 検査者数	直接	0	
		間接	30 (70)	
	喀痰検査者数	0		

ここには全ての健診対象者を記入してください

累計数を記入

月の報告数を記入

<送付先・お問合せ先>

〒047-0033 小樽市富岡 1 - 5 - 1 2

(TEL 0134-22-3117)

小樽市保健所 保健総務課 庶務グループ

(FAX 0134-22-1469)